

ラ フォレ セ ラ ヴィ ー森こそ命ー



La Forêt, C'est la Vie !



村の皆さんと一緒に記念撮影。持っているのは、いただいたニワトリ。

昨年を振り返って

長く支援活動を行って行くために、いったん団体の陣容と活動をスリムにする一ニュースレターで皆さんにそうお伝えしたのは、ちょうど1年前のことでした。

しかし、それからほどなくしてコロナ禍が襲って来ました。NGOの生命線とも言える「人の出入り」は極力控えざるを得なく、イベントも全て中止。現地行きは無期延期となり、講演も対面形式ではなくなりました。「緑のサヘル」も、多くの方々と同様に「大誤算」に見舞われた訳ですが、毎日のやり繰りの中で2つのことを再確認出来ました。

1つ目は現地との強い信頼関係。現地には1年以上も赴けていませんが、そのような状況にも関わらず、プロジェクトには大きな遅れも変更も来していません。これは「緑のサヘル」が、住民や協力団体と様々な思いや考えを共有出来ていることを示しています。もちろん幸運に恵まれた面もありますが、それも強い信頼関係があってこそこのことです。ですからこれは、現地の方々との関係作りが間違っていなかった証と言えます。

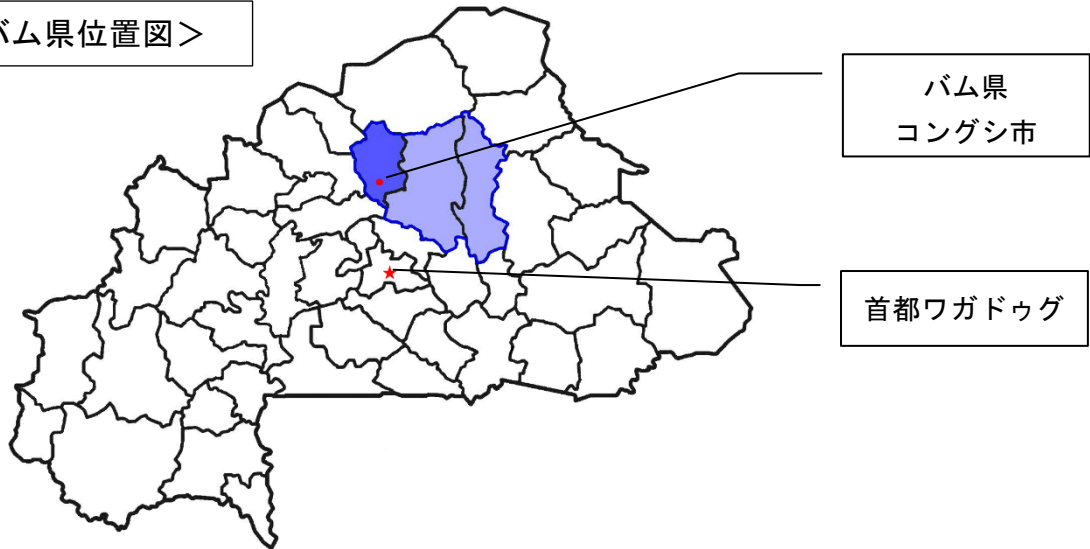
2つ目は支援者の皆さんとの強い絆。この1年、多くの団体が収入を減らしており、中には活動を終了してしまったところさえあります。当団体でも、収入が軒並み減少してしまい、黄色信号が灯るほどでした。しかしそれをカバーしたのが、支援者からのご寄付でした。皆さんが当団体を心配し、寄せて下さったご寄付は、何と一昨年の倍以上の額に上りました。状況は相変わらず厳しいですが、黄色信号は何とか消灯出来たようです。

現地の皆さん、日本の皆さん、本当にありがとうございました。おかげさまで「緑のサヘル」は今年も頑張れそうです。

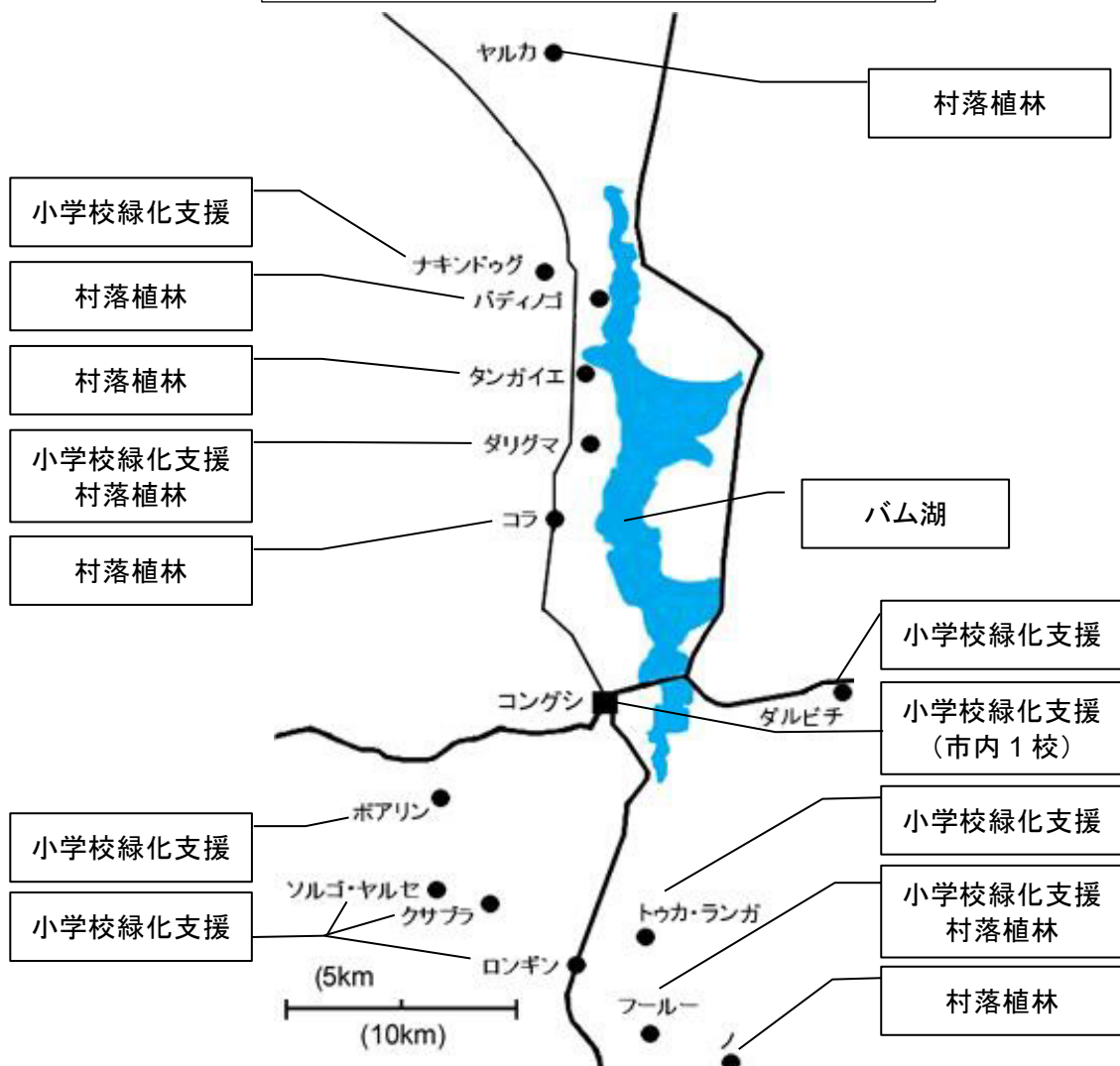
緑のサヘル 事務局長 菅川拓也

ブルキナファソの活動地域図

<バム県位置図>



<バム県コングシ地域活動実施村位置図>



ブルキナファソから 1



2月中旬現在、ブルキナファソにおける新型コロナウイルス感染者の累計は、約 12,000 名（死亡者 140 名弱）となっていますが、既に第 2 波のピークは過ぎ、感染は減少傾向にあります。「緑のサヘル」が活動を実施しているコングシ地域では、未だに感染者は報告されていません。

小学校緑化支援

実施地域は既に乾季の只中にあり、気温は一時 40℃に達しました。現在はサハラ砂漠の砂塵を大量に含んだ貿易風（ハルマッタン）によって太陽が遮られる日もあり、30℃後半を推移しています。

暑さと砂塵の中での作業は簡単ではありませんが、各校において生徒たちによる苗木灌水が続けられています。4 月には苗木の植栽と後管理に関する「評価調査」、5 月には参加校を対象とした「成績発表会」が予定されています。



生徒たちによる苗木への水やり。

村落植林



昨年 12 月 3・4 日、7 村の計 12.4ha において 4,759 本の苗木植栽が行なわれました。この作業には 263 名（男性 106、女性 65、子供 92）の住民が参加し、現在も食害防止柵の整備や灌水作業が続けられています。

また、4 村において成長した樹木 303 本が伐採され、うち 276 本が販売されて計 138,600 円の収入となったほか、27 本が各家庭の薪として利用されました。

村名	本数	面積	男性	女性	子供	参加計
バディノゴ	880 本	1.75 ha	8	4	6	18
ヤルカ	880 本	2.80 ha	21	6	18	45
ダリグマ	880 本	2.80 ha	11	11	19	41
コラ	879 本	3.60 ha	26	14	10	50
フールー	300 本	1.25 ha	28	21	31	80
ノ	60 本	0.25 ha	4	5	3	12
タンガイエ	880 本	1.75 ha	8	4	5	12
7 村	4,759 本	14.20 ha	106 人	65 人	92 人	263 人

ブルキナファソから 2



タカバングゥ村のその後

前号で、「緑のサヘル」の出発点の一つであるタカバングゥ村が武装集団の襲撃を受けたことをお伝えしましたが、その後新たに入って来た情報をお知らせします。

襲撃は2月から10月にかけて4度あり、これまでに4名の村人が命を落としています。被害は甚大でその全容は未だにはっきりしていませんが、牛700～900頭、バイク9台が強奪されたほか、車輛1台が燃やされたとのことです。また、多くの食糧、金品、衣類等も略奪された模様です。ただ4度目の襲撃に際しては、反撃によって武装集団にも犠牲が出たとのことで、以降はタカバングゥを避け、近隣の集落を襲っているようです。

住民は村の安全性を高めるため、村内の34か所に電灯を設置し、周囲を明るく保つことにしました。電気が通っていないので、ソーラーを利用せざるを得ませんでした。価格は電灯と柱を合わせて1基5,500円、34基で187,000円にも及びました。住民自身とその親類、友人や知人達が資金を出し合いましたが、これは現地の主食であるモロコシやトウジンビエを4t近く購入出来る金額であり、村にとって更なる大きな負担となっています。

(写真右:タカバングゥ村に設置された電灯)



残された食糧の量や生活の現況、また今後の見通し等、情報が圧倒的に不足しており、懸念は尽きません。また新たな情報が届き次第、お伝えすることにします。

チャドから



各地で食糧が高騰しています。



各地で価格が高騰しているトウジンビエ。

新型コロナウイルスの蔓延が経済活動を混乱させ続けています。

北部では、運搬の滞りによって穀物価格が高騰しており、特にトウジンビエはマオ、ムソロ両市で過去5年の平均を30%以上も上回る価格となっています。また東部でも、隣国スーダンとの国境地域からの需要によって、アベシェで30%、ゲレダで51%増の価格となっており、住民生活を圧迫しています。

国内活動



例年なら講演や研修の講師を務めることが多い時期ですが、今年はコロナ禍のため全て実施を見合わせる事となりました。毎年恒例となっていた岩手講演も断念せざるを得ませんでした。5 中学校が「緑のサヘル」が用意した講演データを視聴してくれました。

< 国内の主な活動一覧 >

2020 年				
11 月	9 日(月)	一関市立 東山中学校	(2 年生 34 名)	講演データ視聴
	12 日(木)	盛岡市立 仙北中学校	(2 年生 240 名)	講演データ視聴
	27 日(金)	岩泉町立 小川中学校	(1 年生 11 名)	講演データ視聴
			(2 年生 7 名・3 年生 14 名)	ワークショップ
12 月	2 日(水)	ニュースレター No.84	発送	—
	9 日(水)	盛岡市立 下橋中学校	(2 年生 92 名)	視聴・講演
2021 年				
1 月	6 日(水)	仕事始め。カレンダー、T シャツの発送等		—
		盛岡市立 黒石野中学校 (2 年生 153 名)		講演データ視聴

2020 年 各校の取り組み

東山中学校は多目的ホール、仙北中学校は視聴覚室、黒石野中学校は体育館で、2 年生が「緑のサヘル」が提供した音声付パワーポイントの視聴を行ないました。視聴後は生徒各々が感じたこと、考えたことを感想文としてまとめました。各校によって事務局に届けられていますので、次頁にその一部をご紹介します。



班で話し合った内容を発表する生徒たち。

小川中学校は、1 年生は音声付パワーポイントの視聴による学習を実施、以前にも講演の経験がある 2・3 年生は、別バージョンのデータを使用して復習とワークショップを行ないました。

ワークショップでは班ごとに、環境の回復や継続的な国際支援を実現するために、自分たちに出来ることを話し合い、発表を行ないました。

下橋中学校では 2 年生が、音声付パワーポイントを視聴した後、「緑のサヘル 岩手プロジェクト」代表の齊藤せい子さんが講演を行ないました。下橋中学校は 22 年にわたって当団体を通じたアフリカ支援を続けており、講演ではご寄付の使用内容も報告されました。講演後は、生徒会が中心となって集めたご寄付をいただきました。

講演データは事務局長の菅川による音声付パワーポイントで、小学校用、中高用、大学用があります。視聴をご希望の学校関係者の方は、事務局までご連絡下さい。



協力団体の代表が叙勲されました！

昨年12月、「緑のサヘル」の現地協力団体である「AJPEE」（環境畜産保全青年協会）の代表、サウドゴ・ナゼールさんが、長年にわたる環境への取り組みと顕著な成果が評価され、ブルキナファソ環境大臣より勲章を授与されました。

サウドゴ氏は、「私は日本とブルキナファソに暮らす支援者の皆さんの代表として勲章をいただいたに過ぎません。ですから、この栄誉は皆さんのものです。」というコメントを出しています。



環境大臣から勲章を授与されるサウドゴ氏。

視聴の感想

講演データを視聴した各校の生徒たちの感想（抜粋）を、以下にご紹介します。

- ・自分が想像しているよりも、もっと過酷な地域が存在しており、生きたいと強く願っても、叶わない人達がこの世の中には存在しているのだということを感じました。（東山中学校2年）
- ・私たちの身の回りにあふれているものは、サヘル地域では得られないものばかりだと気づきました。同じ地球上でこんなにも暮らしに差があることに、恐ろしさを感じました。（仙北中学校2年）
- ・この世界で起こっている様々な現象、問題。この世界がどのようにあって、なぜ人々が困っているのか。何も分からないから、まずは知りたい。そして、自分も何かを変えたいと、そう感じました。（黒石野中学校2年）
- ・自分たちが募金したお金が、遠く離れたアフリカの子供たちに、しっかりと届いていることが分かりました。自分が希望の木を植えて、この地球を救っていく1人になれるよう頑張ります。（下橋中学校2年）
- ・自分たちには、リサイクルで集まったお金だけでなく、書き損じハガキを集めて寄付することもできると思います。また、雨季に降る雨を溜め、浄化する施設を将来的に建設するために、文化祭で募金を行なうのも可能性があります。そして、どの取り組みも自分たちだけでなく、保護者や地域の皆さんと協力して進める方が上手く行くと考えています。（小川中学校3年）

* 小川中学校の文章は、口頭で発表された内容を事務局でまとめたものです。

ありがとうございました

＊敬称は略させて頂きました。

【 会員の皆さま 】

金井晶子／住友俊子／田中ちえ子／守脇竜彦／水真陽一／田辺諄児
上野幸子／木嶋清江／高橋聖子／青山初穂／宮田春夫／今野和子
竹内信／加藤和雄／那口真理子／柏原竜一／榎本雅子／片岡稔・千尋
杉本和／鈴木幸子／浅輪哲司／梅田暢子／佐々木順平／大久保久美子
東千尋／瀬戸栄一／瀬戸義子／瀬戸謙二／瀬戸泰三／援助修道会

【 ご寄付を頂きました 】

太田宜子／田中ちえ子／亘友子／黒河内康／栗原潤一／佐藤京子／鈴木潤
矢野友一郎／岩永孝子／石毛弘／センマツキヨミ／清水貴夫／森野孝子
西山鐵之助／畠山暁子／齊藤せい子／井上るみ子／森田康子／高橋菜々子
奥田勇生／木嶋清江／西村豊子／宮本秀子／田辺諄児／須藤さい／高橋優華
宮田春夫／太田弘子／榎本みつ子／澄田静／葛原睦子／高倍宣義／加納愛子
馬場慶子／佐藤佑子／伊藤敬子／田中佳博／佐藤郁子／伊藤雄高／氏岡治代
中久保慎一／高木真味子／武藤彰子／徳永由希子／梶野修平／カワダカズユキ
小笠原弘子／桜井より子／加藤治郎／浅井賢太郎／國岡裕子／高田日出男・恭子
竹中和子／内記悦子／梅田暢子／勝間朋子／手塚太郎／佐藤裕美
奥康功／田中節朗／紀氏健雄／花垣末男／花垣正／青柳美知子／大段紀代子
高瀬光代／谷村泰子／百々多岐子／水島多衛子／アルファジャズ 殿岡ひとみ
援助修道会／日本聖公会 西宮聖ペテロ教会／個別教育フォレスト 安多秀司
稽古場風 堀籠貴子／盛岡市立下橋中学校／緑のサヘル 岩手プロジェクト

他 匿名をご希望の方 6 名

【 古本チャリティ募金を通じてご寄付を頂きました 】

重田尊子／黒田ひとみ／飯田三代／今井奈津子／井上明子／土蔵愛子

他 匿名をご希望の方 1 名

【 ハガキ・切手・商品券・図書カードなどをいただきました 】

緑のサヘル盛岡支部

上記は 2020 年 11 月 1 日から 2021 年 1 月 31 日までにご支援頂いた方、また、それ以前にご支援頂き、お名前を掲載できなかった方のご芳名であり、2 月 1 日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。

【 協力団体・助成団体 】

アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会／トヨタ自動車(株)
(公財)毎日新聞東京社会事業団／国際ソロプチミスト大阪-中央
(特活)環境アリーナ研究機構／(株)ブギ／アフリカ料理トライブス
(特活)国際協力 NGO センター／LIFULL ソーシャルファンディング
ソフトバンクつながる募金／環境メディアフォーラム有限責任事業組合

【 写真を提供しました 】

(株)日本入試センター 小学生対象学習塾「サピックス小学部」塾内教材

「緑のサヘル」からお知らせ

ご支援をお願いします！

● 会員を募集しています！



「緑のサヘル」を恒常的に支えて下さいますか？
年会費は、団体賛助会員 50,000 円、個人賛助会員 10,000 円、学生会員 5,000 円です。
会員になって下さった方には会員番号を通知し、当団体のニュースレターと年次報告をお送りします。

● ご寄付を募っています。



「緑のサヘル」は、多くの方々の支えによって活動を続けられています。もちろん、いくらからでも OK です。どうぞ、貯まった小銭や臨時収入のお裾分け等々、「緑のサヘル」にお託し下さい！生徒会や有志による募金も、大事に大事に使わせていただきます。

緑のサヘル カレンダー



西アフリカの人々と生活が身近に感じられると好評の「2021 年 緑のサヘル オリジナル・カレンダー」、若干ですが在庫があります。

まだご注文いただけますので、ご希望の方は事務局までご連絡を下さい。

● 書き損じハガキや未使用切手を集めています。



国内での活動には、ハガキや切手も必要です。未使用の切手は、そのまま使わせていただきます。
書き損じハガキは、1 枚 5 円の手数料で同額のハガキか切手、レターパック等に換えることができます。その結果、現地の活動費を増やすことができます。

「古本チャリティ募金」は、現在システムを変更中です。詳しくは次号のニュースレターにてお知らせいたします。

【 もくじ 】

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動 |
| 2・・・ブルキナファソ活動地図 | 6・・・事務局より |
| 3・・・ブルキナファソから 1 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・ブルキナファソから 2 | 8・・・お知らせ |
| チャドから | |

< 編集後記 >

今年最初のニュースレター。作製中はずっと現地に思いを馳せ、国内の出来事を振り返り、支援者の皆さんを思い浮かべています。いろいろなことを同時に進めるのは大変ですが、とても充実した幸せな時間でもあります。（事務局）

La Forêt, C'est la Vie !

Vol.85

編集 緑のサヘル 東京事務局 / 印刷 社会福祉法人東京コロニー

発行所 (特活) 緑のサヘル ホームページ: <http://sahelgreen.org/> E-mail: agsj_tokyo@sahelgreen.org

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町 16 番地 N A S ビル 3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041